

PaKoMa

DIY工房

納得のいく工具で  
こだわって作る本格DIY

中島先生と作る

# トレー付きラック

浅いものから深いものまで  
4段のトレーが付いたラックです。  
上にプリンターを乗せると、  
上段のトレーがペーパー受けになり、  
他のトレーは  
プリント用紙のストッカーや  
文具入れになって重宝します。



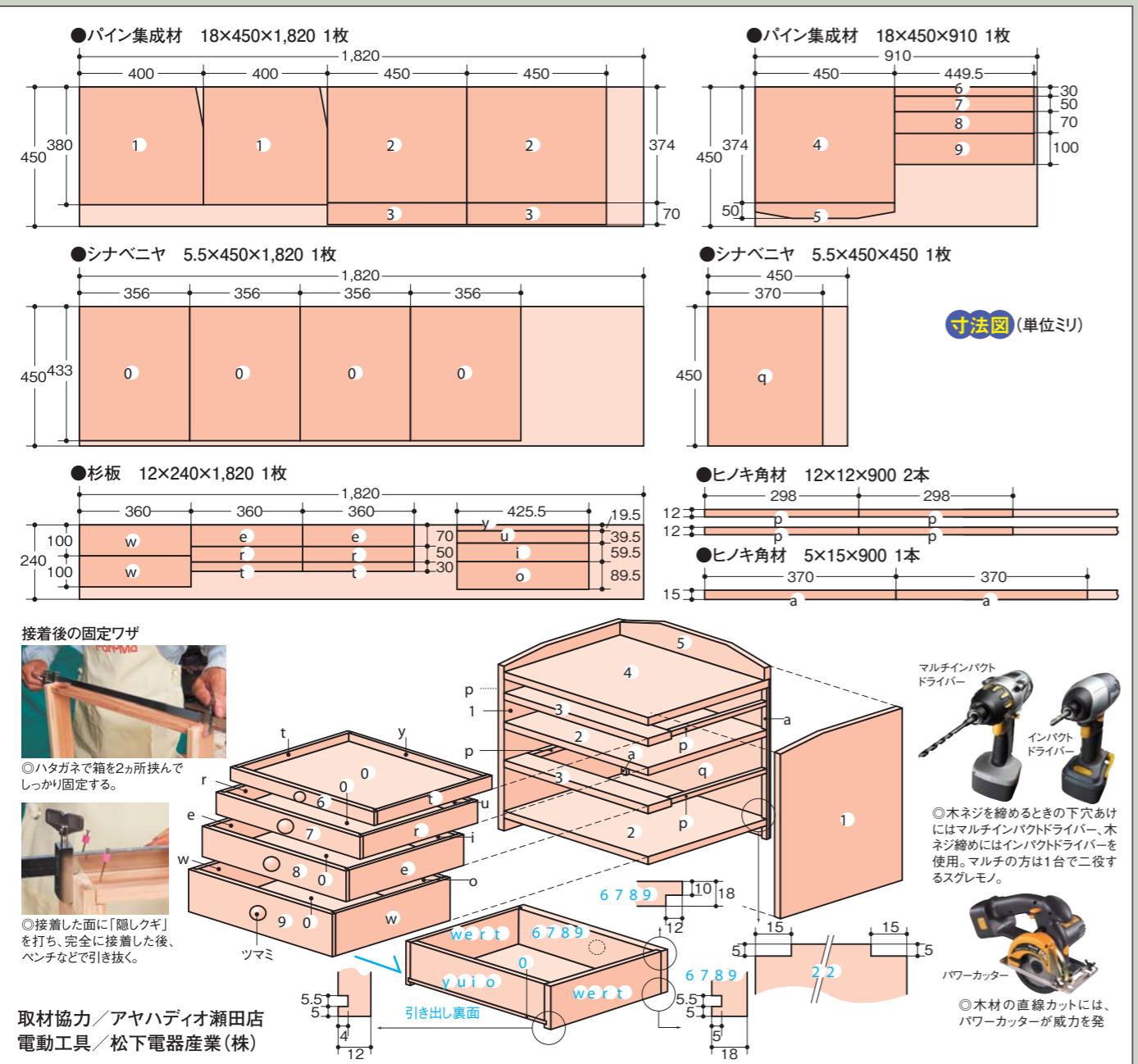
## 制作指導



日本日曜大工クラブ会員  
中島 清先生



4段トレー付きラック  
使い方いろいろ。デスクまわりやりビングにあると、  
小物や紙類がすっきり片付きそうですね。

こだわりの  
ポイント白木と木面の  
美しさにこだわる

せっかく白木材を使っているので、表面に木ねじのヤマを見せたくないという中島先生。そのための隠しワザは…

丸穴に丸棒を埋めて  
木ねじのヤマを隠す(ダボ処理)

ダボ処理については以前の号でもご紹介しましたが、ドライバービットが3種類(木工用・下穴あけ用・プラス)あれば、マルチインパクトドライバー1本で簡単にできるのでやり方を覚えておくと便利です。

(P)まず、木ねじを打つ位置に、木工用ビットで丸穴を作る(下穴あけ用ビットで下穴をあけ、プラスビットで木ねじを打つ)木ねじを打った丸穴の上に木工用ボンドをつけて丸棒を差し込み余った部分を切り取る(木の表面をなめらかに磨く)。

トレーの箱組みは  
接着剤と木のクギで

引き出しあは、動きのためかさが仕上げの条件。そのため側板とふれ合う部分には、金属の木ねじは使いたくないので、木のクギを使います。木のクギは、市販でも売っています。

## トレーの箱組みは

ツマミも同色の木製で、全体を白木のイメージで統一するため、同じような木の素材のツマミを付けます。今回は市販の木製ツマミを使いましたが、手に入らない場合は、本体に似た端材で四角や三角に切り、オリジナルなデザインで作りましょう。

## 8



\*木工関連の材料やサービスについて、一部扱っていないホームセンターもあります。



- ①電動工具(パワーカッター、マルチインパクトドライバー、インパクトドライバー)  
②ハタガネ ③カナヅチ ④木工用キリ  
⑤カンナ ⑥ノミ ⑦カネジャケ ⑧モノサシ ⑨ドライバービット  
(木工用・下穴あけ用・プラス) ⑩メジャー ⑪鉛筆  
⑫細工ノコ ⑬ハンドサンダー ⑭木工用ボンド ⑮隠しクギ

- ①木材/シナベニヤ・パイン集成材・杉板・  
ヒノキ角材・ラミン丸棒(直径5・8)  
②木ねじ(40)  
③木製ツマミ(直径25・34)



- 6 引き出し受けの角材を左右2段分付ける。カンナで軽く面取りしてから木工用ボンドで接着し、隠しクギで固定する。



- 4 ラックの側板と棚板を付ける部分に、ダボ処理をする丸穴を木工用ビットである。(マルチインパクトドライバー使用)



- 1 木材に図面どおりにスミ付けして、パワーカッターでカットする。(ホームセンターでカットしてもらえるところもあります)。カットした後の木口をサンダーで磨いておく。



- 2 引き出しの底板をはめるミゾ切り、箱を組む角落としをする。



トレーのたくさんある  
ラック作りにトライ!  
ラックの本体にトレーがピッタリはまるよう  
に作るのは、なかなか大仕事。今回4段のト  
レー付きでしかもトレーの深さがすべて違う  
ものがあります。ラック本体の組み立てには、  
ドライバーにも切り替えられる、マルチインパクト  
を使ってスピーディーに。引き出しの組み立てには、  
接着剤と木のクギを使います。今月は  
中島先生の設計・指導とアヤハディオ瀬田店  
のDIYフロア長竹本さんの共同制作でお届  
けします。